

指定管理者制度導入施設 管理運営状況(令和6年度)

基本情報						
施設名称 (愛称)	滋賀県立むれやま荘					
HPアドレス	http://glow.or.jp/facility/滋賀県立むれやま荘/ (建物外観等)					
電話番号	077-565-0294					
所在地	草津市笠山八丁目5-130					
設置目的	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第11項に定める障害者支援施設として、脳血管障害、脊髄損傷等急性期医療や急性期リハビリテーション等を終えた中途障害者の方や高次脳機能障害者のある方等に社会的リハビリテーションや医学的リハビリテーション、職業的リハビリテーション等のサービスを継続的に提供し、自立および社会参加を支援する。					
所管	部局	健康医療福祉部				
	課等	障害福祉課				
設置年月	昭和59年4月					
土地	敷地面積	9,300.00㎡	避難所指定等	災害時における福祉避難所		
	市街化区域	市街化調整区域	防災拠点指定等	—		
	用途地域	指定なし	文化財指定	—		
建物	延床面積	4,551.04㎡	再生エネルギー等	—		
	取得価額	723,337,800円	自家発電設備	有		
運営	運営方法	指定管理	バリアフリー	障害者用エレベーター	無(平屋)	
	運営時間	24H		多目的トイレ	有	
	休館日	—		オストメイト対応トイレ	有	
駐車台数	50台		車いす使用者用駐車場	有		
特記事項 指定管理者: 社会福祉法人グロー						
施設概要						
名称	主体構造	設置年	延床面積	階数	耐震	備考
障害者総合福祉センター 訓練棟	鉄筋コンクリート	S58.4.1	1,039.06㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 居住棟(重度棟)	鉄筋コンクリート	S58.4.1	914.40㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター サービス棟	鉄筋コンクリート	S58.4.1	840.00㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 居住棟	鉄筋コンクリート	S58.4.1	485.78㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 管理棟	鉄筋コンクリート	S58.4.1	352.50㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 基礎作業科棟	鉄骨造	S60.4.1	311.03㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 渡廊下	鉄骨造	S58.4.1	153.75㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 倉庫(A)	鉄骨造	S58.4.1	68.03㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 世帯者用住宅	鉄骨造	S58.4.1	63.61㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 世帯者用住宅(2)	鉄骨造	S58.4.1	63.61㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 車庫	鉄骨造	S58.4.1	61.85㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 倉庫(B)	鉄骨造	S58.4.1	55.66㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 物干場	鉄骨造	S58.4.1	40.00㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 基礎作業科棟渡廊下	鉄骨造	S60.4.1	34.39㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 渡廊下	鉄骨造	S58.4.1	15.90㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 物置(3)	軽量鉄骨造	S58.4.1	14.52㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 浄化槽機械室	鉄筋コンクリート	S58.4.1	13.13㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 自転車置場	鉄骨造	S58.4.1	7.29㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 自転車置場	鉄骨造	S58.4.1	7.29㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 物置(1)	軽量鉄骨造	S58.4.1	4.62㎡	1	新耐震	
障害者総合福祉センター 物置(2)	軽量鉄骨造	S58.4.1	4.62㎡	1	新耐震	

指定管理者管理運営状況（令和3年度～令和6年度）

指定管理者管理運営状況

年度	指定管理者	指定管理期間
R6年度	社会福祉法人グロー	R6.4.1～R11.3.31
R5年度		
R4年度		
R3年度		

成果情報	R3	R4	R5	R6	備考
利用可能日数(単位:日)	365	365	366	365	
年間利用人数(単位:人)	7,308	8,390	8,465	6,456	
1日あたり利用人数(単位:人/日)	20.0	23.0	23.1	17.7	
年間収入(単位:円)	199,916,719	202,988,298	211,447,735	210,656,391	
1日あたり収入(単位:円/日)	547,717	556,132	577,726	577,140	

収入・支出実績 (単位:円)	R3	R4	R5	R6	備考
収入①	199,916,719	202,988,298	211,447,735	210,656,391	
施設利用収入	96,867,304	122,998,666	123,777,426	112,600,758	
指定管理料	102,366,790	79,383,000	81,423,000	96,877,000	
その他収入	682,625	606,632	6,247,309	1,178,633	
支出②	203,870,024	208,642,482	211,158,117	211,077,003	
人件費	166,633,665	156,829,967	155,653,721	158,322,252	
施設管理費	9,076,610	8,122,247	8,440,509	7,096,645	
事業費	28,159,749	43,690,268	47,063,887	45,658,106	
収支 ①-②	-3,953,305	-5,654,184	289,618	-420,612	

モニタリング実施状況(令和6年度)

報告書の別	内容
年度報告	年次事業報告書(令和6年3月報告)
月例報告	月例業務報告書(毎月報告)
実地調査	令和6年6月、令和7年3月 実施
実地調査等の概要	<p>【令和6年6月】 実地調査(定例)チェックリスト(むれやま荘)を基に、聞き取りを実施。事故報告に該当する事例について確認。令和5年度実施のトイレ改修の計画の確認。LED化事業等の補助事業および国公募事業の情報共有。</p> <p>【令和7年3月】 令和6年度の事故・苦情の確認。安全・防犯性について。防災対応および発災時の体制について。法令等の遵守について。利用状況・満足度調査について。施設の整備について。ハラスメント対策等の状況について確認。</p> <p>【その他】 ハラスメント対策については、各種研修の実施、ハラスメント相談窓口の設置、法人内ポータルサイトでの相談受付など、相談できる体制を構築しており、適正に対応していることを確認した。 あわせて、年次事業報告書、月例業務報告書により、管理業務が適正に実施されていることを確認した。</p>

利用者ニーズの把握

手法・実施時期	アンケート、意見箱
実施内容	満足度調査、嗜好調査(年2回)、意見箱(常時設置)
調査結果	利用者満足度調査については、2回実施した。 満足度調査の結果および意見箱への意見については、随時朝礼等で利用者や職員に情報を共有し、改善に努めている。 嗜好調査に基づき、可能な限り食事のメニューや味付けを変更している。

工夫・成果のあった点、運営上の課題

工夫・成果	<p>①情報共有アプリケーション「ケアコラボ」や「LINE WORKS」を利用し、日々の申し送りや利用者からの苦情・要望について職員へ迅速に周知するようにしている。</p> <p>②意見箱を設置することにより、随時利用者のニーズの把握に努めている。</p> <p>③オストメイト対応トイレの整備により、排泄に関する対応がより実施しやすくなった。</p> <p>④短時間動画による研修を導入し、職員ごとに必要なテーマを受講することで、自己研鑽およびやりがいの向上を図っている。</p>
問題点	<p>①施設の老朽化。</p> <p>②利用者の確保が難しい。利用者の高齢化。基本的に利用期間は2年のため、出ていく人は一定であるが、新規の入所・通所者が少ないため、利用者の減少が目立つ。</p>